

が出来る、勿論活発な闘争を通じてのみ財政は確立されるのであるが、班、支部、支部聯合会の活動に依つて財政を確立すべきである。

3、自衛團、教授会の組織

闘争は激化し、×××の横行はつづつてゐる、之と對抗する爲に自衛團を組織すべきである。且、犠牲者並びに家族を救ふ爲に教授会の組織を急がねばならぬ。

4、演説会の準備と動員網の編成

闘争の激化は演説會に於てもその合法的場面が非常に狭まれてゐる今日、ビラ、傳單、ポスター等の印刷物のもつ宣傳煽動の任務を理解し、更に演説會は之を組織的計畫的に行はねばならぬ。

A、工場農村大衆の演説會に於ける集團的動員

B、演説會場に於ける集團的配置

D、演説會場に於ける警備の配置

C、辯士の言論内容の統一

E、聴衆の黨への組織

非常的動員網を確立して示威運動(デモ)の場合も大衆を集團的行動に訓練せねばならぬ。

5、計畫的組織運動

闘争は、農工階級の連帯力會者の中に展開して居るが故に、農民組合、労働者、農民の運動は、労働組合、農民組合と密接なる關係に於て行はねばならぬ、小商人、小市民層は常に動搖極りなき層であり大衆的に組織しがたき層である、依つて之等の層に對しては日常不斷の闘争に依つて之等を常に黨の影響下におき、闘争へ動員せねばならぬ。

2、如何に闘争を展開すべきか?

A、従來の闘争は何れの無産政黨に於ても問題は片端しから取りあけるが、その大半は中途でやり放しにされて來た、爲に無産政黨は名ばかりといふ印象を大衆に與へ、悪影響を來たしつゝある。

斯の如き方法は急速に改められねばならぬ。

單に宣傳、煽動の時代は過ぎて、何處迄闘ふかといふ點である、大衆の關心も此處ある、我等も今後の闘争は最初に見通しを作つて、如何なる困難も突破して戦はねばならぬ。

B、大衆の不平、反抗は黨は直ちにとりあげその大小を問はず闘争に移し、闘争は大膽に勇敢に、親切に行はねばならぬ。

黨本部組織部は各聯合會から詳細なる報告をまとめ更に地方聯合會の組織方針決定に本部より参加して組織プログラムを決定して計畫的組織運動をなす。

二、未組織大衆の獲得

不景氣の深刻、極度の生活の窮迫は勞農大衆の中から自然發生的不平、不満反抗が燃へ上りつゝある。(生活防衛闘争の件参照)然も之等の大衆は今日迄殆ど未組織の荒野に放任されて居る、我等は之を取りあげ、日常闘争を組織して、闘争を通じて黨に組織せねばならぬ。

勞農無産大衆は如何に生活に窮迫しやうとも、一、二回の演説會や四、五枚の宣傳煽動ビラでは直ちに我等の陣營に來るものでない。大衆の要求してゐるものを具體的に取あけて闘つてこそ始めて我等の陣營に來るのである此の日常不斷の闘争こそ、我等の組織運動の基本的方針である。

1、日常闘争の目標

我等の組織運動の目標は労働者、農民、下層俸給生活者借家人小商人等その他一切の勞農、無産大衆であるが我等は特に労働者農民にその主力をそゝがねばならぬ、彼等に働きかける日常闘争の目標は生活防衛闘争、失業反

C、闘争の形式

1、大衆闘争

我が黨が共同戦線黨であり、労働者農民の動員組織である以上、一切の闘争の形態は大衆行動をもつてせねばならぬ。

2、大衆闘争の形態

民衆大會、労働者大會、工場代表者會議、従業員大會、小作人大會、農民大會、農民代表者會議、演説會、示威運動、勞農議會、等主要なる形態である、黨の名を直ちに表面に出して大衆を引きつけ種々の事情ある場合は一時的同盟體、(ガス値下同盟、電氣料値下同盟等) 闘争團の懇談會、相談會、研究會の組織へと集めて更に黨に組織する。

大衆闘争に動員された、大衆全部を黨それ自體へ組織し得ると考へるのは大きな誤りである。黨への組織には一定の限度がある、黨へ入黨出来ない大衆も常に闘争へ動員する事は絶対に必要である。

3、曝露、煽動(デジ)スローガン

敵は何をして居るか如何なる武器とからくりで我々を苦しめつゝあるか我々は如何なる關係にたつて居るか